

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	児童館・児童センター運営事業	会計	一般会計	事業No.	712	施策順No.	37-030
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-7-11-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	学校教育課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	S45	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	放課後家庭に保護者のいない低学年児及びその保護者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		放課後留守家庭の小学校低学年児童数	746	791	778	676	684		
意図		放課後留守家庭の児童が、安心して過ごせる場所を確保する 保護者が安心して働けるようにする							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		市の運営する児童クラブの利用児童数/申込者数(%)	96	97.7	97.8	99	99	99	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価可】	待機児童を早期に解消し、子育て支援に寄与した。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 児童館・児童センターは児童福祉法に基づく児童厚生施設であり、本来全児童が対象であるが、飯田市では放課後留守家庭の児童を対象とした児童クラブ事業を主眼に運営している		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 児童館(2カ所)、児童センター(5カ所)の運営を行う (1)放課後留守家庭の児童の受け入れ (2)児童厚生員の適正配置 (3)児童への対応や運営等に関する児童厚生員研修会等の開催 (4)一般児童の受け入れ 2 長野県児童館連絡協議会の事務局 (1)総会及び前期研修会の開催	児童館・センター数 登録児童数 児童厚生員の数	7カ所 314人 20人
23年度実施計画	1 児童館(2カ所)、児童センター(5カ所)の運営を行う (1)放課後留守家庭の児童の受入 (2)児童厚生員の適正配置 (3)児童への対応や運営等に関する児童厚生員研修会等の開催 (4)一般児童の受け入れ 2 長野県児童館連絡協議会の事務局 (1)総会及び前期研修会の開催 3 座光寺児童センターの水洗化 (1)合併浄化槽の設置、屋内改修工事	児童館・センター数 登録児童数 児童厚生員の数	7カ所 317人 20人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 安心こども基金事業補助金(AED設置事業) 602千円(補助率:県10/10) 太陽光発電収入 169千円 22→23繰越明許 6,700千円
	国庫支出金					
	県支出金		1,575	602		
	起債					
	その他			169	150	
一般財源		52,886	44,974	49,168		
計(A)		54,461	45,745	49,318		
	正規職員所要時間			320		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			1,144		
	トータルコスト A+B			46,889		

4 事業に対する市民や議会の意見

- ・議会から小学校単位に設置の要望がある。(千代地区は民間が運営)
- ・保護者から障害のある児童であっても同様に受け入れてほしいという希望がある。現在、必要に応じて児童厚生員を加配し、障害のある児童の受け入れもしている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子育て世代が産み育てやすい社会環境が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合 児童館・児童クラブの受け入れ可能数(人)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・放課後留守家庭の児童を受け入れ、子育て世代の保護者が就労できるように支援している。		
	後期に向けた課題	・国の動向と保護者ニーズを見ながら、子育て支援サービスが継続して提供できるように対応する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・老朽化した施設の改修。定員の範囲内での小学校高学年の受け入れもやっている。		
	後期に向けた課題	・国の動向と保護者ニーズを見ながら、子育て支援サービスが提供できるように対応する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・事業費のほとんどが児童厚生員の人件費及び土地の賃借料であるため、コスト削減できない。		
	後期に向けた課題	・事業が継続できるように現状維持に努める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・子育て支援は市の重点施策であり、市の関与が必要である。受益者負担の程度も現状では適切である。		
	後期に向けた課題	・他市の動向により、市の関与及び受益者負担の程度について、検討する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は飯田市で、運営委員会とともに児童館・児童センターを円滑に運営し、役割を果たした。		
	後期に向けた課題	・実施主体の役割についてよりよい形になるように検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・児童数の減少、不景気により登録児童が減少傾向にある。		
	後期に向けた課題	・保護者からの閉館時間延長、長期休暇だけの利用、アレルギー対応などの要望への対応について検討する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------